



平成 26 年 6 月 30 日

各 位

会 社 名 ペプチドリーム株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 窪田 規一  
(コード番号：4587 東証マザーズ)  
問い合わせ先 取締役経営管理部長 関根 喜之  
電 話 番 号 (03) 3485-7707 (代表)

### 平成 26 年 6 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成25年8月13日付で公表いたしました平成26年6月期（平成25年7月1日～平成26年6月30日）の業績予想を下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

#### 1. 当期の通期業績予想数値の修正（平成 25 年 7 月 1 日～平成 26 年 6 月 30 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 た り 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	百万円 1,385	百万円 718	百万円 714	百万円 442	円 銭 33.45
今回修正予想 (B)	818	196	219	143	10.70
増 減 額 (B-A)	△566	△522	△495	△299	—
増 減 率 (%)	△40.9	△72.7	△69.3	△67.5	—
(参考) 前期実績 (平成 25 年 6 月期)	678	160	174	137	12.32

#### 2. 修正の理由

当社では、平成 26 年 6 月期の業績予想を公表するに当たって、次の 5 つの目標を設定しておりました。

- ① 現在獲得しているリード化合物 2 件をライセンスする。
- ② 新規にリード化合物を 2 件以上獲得する。
- ③ 新規の共同研究開発契約先を 1 件以上獲得する。
- ④ 技術貸与契約を 1 件以上締結する。
- ⑤ 自社パイプラインの動物実験データを（成功例）を公表する。

当社の自助努力によって達成することが可能な②から⑤の 4 つの目標については期中に達成することができました。しかし、平成 26 年 6 月期売上高の主要な項目として見込んでいた①のリード化合物 2 件をライセンスすることに関しては、本日只今までにアライアンス先からの通

知がなく、リード化合物をライセンスアウトすることにより得られる売上高の計上（創薬開発権利金売上の計上）が来期以降にずれることとなりました。

リード化合物のライセンスは、一般的にライセンス予定先の製薬会社（クライアント）において動物実験等を経て、臨床治験の開始の目処が立った時点で当社に通知されることとなります。当社としてはクライアントからの通知を待つという立場であり、創薬開発権利金に係る売上は、クライアントにおける業務の進行状況やクライアントの政策的な判断等に依存しており、当社の自助努力のみによってはコントロールが困難な売上カテゴリーであります。

①のリード化合物が目指す疾患分野は非常に大きな市場であり、臨床治験の準備をするための時間が当社において予想していたものより、かなりの時間を要するものであったと考えられます。

また、いくつかのプロジェクトにおいて共同研究開発のスタート時期の遅れ等により、今期中に予想していたクライテリア（目標）達成に伴う研究開発支援金売上が先に延びており、達成に向け努力いたしましたが当期中に達成することができませんでした。

上記のとおり売上高が当初予想を下回る見通しとなり、営業利益、経常利益及び当期純利益についても前回予想と比べて減益となる見込みであります。

（注）上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以 上